

仙南地域の麦作情報

1 現在の生育状況について

令和2年産(令和元年は種) 生育調査結果(12/15現在)

調査日	品種等	播種日	項目	本年	前年比	平年比※
12月16日	シュンライ	11月10日	草丈(cm)	7.6	113.4%	88.2%
	金ヶ瀬		茎数(本/m ²)	161.7	98.0%	86.5%
	ホワイトファイバー	11月8日	草丈(cm)	6.9	—	—
	金ヶ瀬		茎数(本/m ²)	195	—	—

※平年は過去5カ年の平均

2 今後の栽培管理について

(1) 踏圧(麦踏み)

①踏圧とは

麦の生育を調整する技術です。3～4葉期から茎立期直前までに実施しましょう。

②踏圧の効果

- ・地上部の過剰生育の抑制
- ・分けつの増加
- ・根張りを深くする
- ・茎葉の汁液濃度を高めることで耐寒性が増大
- ・霜柱や凍結層による凍上害の防止

③越年後～茎立期直前(概ね3月中旬)までの踏圧の効果

- ・徒長や茎の早立ち抑制
- ・春先の低温による幼穂凍死の抑制
- ・穂揃いの均一化, 倒伏の抑制(稈の強剛化)

④踏圧作業

- ・は種後年内に1～2回, 越年後は茎立期までにさらに1～2回が望ましい。

<茎立期とは> 主稈長2cmくらい→一番下の「節」が肉眼で確認できるころ
このときの幼穂長は2mm程度で「幼穂形成期」とも重なります。
※大麦であれば, 早いと1月下旬～例年であれば2月中旬頃の見込み

(2) 追肥(大麦)

追肥時期	時期の目安		窒素追肥量	硫安現物
幼穂形成期	幼穂長2～3mm(茎立期)		2.5kg/10a	12kg/10a
減数分裂期	幼穂長20～30mm	生育良好時	2.5kg/10a	12kg/10a
		生育不良時	2.0kg/10a	10kg/10a

(3) 雑草防除

3月上旬頃までを目安に, 繁茂している草種(広葉雑草か, スズメノテツポウか)に合わせて薬剤を選択して実施しましょう。

(4) 病害防除

赤かび病の防除は出穂期以降ですが, 準備を進めておきましょう。

(5) 排水対策

排水機能に難のあるほ場では明きよの補修など, 排水対策を万全にしましょう。